

## 次期循環型社会形成推進計画における指標及び目標値

	指標名	関連 施策※1	現行計画		次期計画（案）		目標値設定の考え方	備考	
			単位	H25実績	H32(R2)目標	R1実績			R7目標
一般廃棄物	リサイクル率	1・2	%	18.5	20.6	㊦18.2	㊦23.0	H30 において、東北 1 位であるものの全国平均(19.9%)を下回っていることから、今後 10 年間（次期環境基本計画期間）において、基本方針（H28.1 環境省）における目標値 27.0%（H32（R2））の水準を目指すもの。	次期環境基本計画（R3～R7）における総合的指標
	【新規】 エコショップいわて認定店等による店頭資源回収量	1	トン			㊦1,475	㊦2,200	上記リサイクル率（量）は、店頭資源回収量を含まないことから、県民のライフスタイルの変革を促す指標として設定し、エコショップ認定制度の啓発とともに、年間 100 トン程度の増加を目指すもの。	次期環境基本計画（R3～R7）における施策推進指標
	【新規】 県民一人 1 日当たり家庭系ごみ排出量	1・2	g	504		㊦506	㊦465	循環型社会形成推進基本計画（H30.6 環境省）における削減率を踏まえて設定した県民計画幸福関連指標（R4 年度目標値）と同水準の維持を目指すもの。	いわて県民計画（2019～2028）第 1 期政策推進プラン（2019～2023）における幸福関連指標
	県民一人 1 日当たり事業系ごみ排出量	1・2	g	299	278	㊦295	㊦271	県民一人 1 日当たり家庭系ごみ排出量と同様の削減率を目指すもの。	
	最終処分量	1・2	千トン	50.4	47.4	㊦41.3	㊦35.8	循環型社会形成推進基本計画（H30.6 環境省）における削減率を踏まえて設定した県民計画幸福関連指標（R4 年度目標値）と同水準の維持を目指すもの。	いわて県民計画（2019～2028）第 1 期政策推進プラン（2019～2023）における幸福関連指標
産業廃棄物	再生利用率	1・2	%	68.5	68.5	㊦60.6	㊦60.6	現状値において、国の基本方針（H28.1 環境省）における目標値（56%）を上回っており、現状値の水準の維持を目指すもの。	次期環境基本計画（R3～R7）における総合的指標
	産業廃棄物排出量	1・2	千トン	3,283	2,750	㊦2,683	㊦2,400	産業廃棄物排出量の将来予測（H30 実績調査）を踏まえ、東日本大震災津波以降のピーク時（H25 年度 3,283 千トン）から約 27%の削減を目指すもの。	
	最終処分量	1・2	千トン	98	80	㊦99	㊦82	産業廃棄物排出量の将来予測（H30 実績調査）を踏まえ、東日本大震災津波以降のピーク時（H30 年度 99 千トン）から約 17%の削減を目指すもの。	
	自県内処理率	2・3	%	97.1	97.5	㊦94.1	㊦97.5	特別管理産業廃棄物等の県外処理を要する廃棄物もある実態を考慮し、現行計画と同様の目標値とするもの。	
適正処理	適正処理率	3	%	99.4	99.4	99.6	100%	産業廃棄物適正処理指導員による立入検査など、監視・指導体制の充実・強化等により適正処理事案の割合 100%を目指すもの。	いわて県民計画（2019～2028）第 1 期政策推進プラン（2019～2023）における具体的施策推進指標
資源循環	【新規】 ＜参考指標＞ 入口側の循環利用率	《共》※2	%	17.4		㊦18.0	㊦18.5	循環型社会形成推進基本計画（H30.6 環境省）における目標値 18.0%（2025（R7））を踏まえ、国の目標値を上回る水準の維持を目指すもの。	総物質投入量に占める循環利用量の割合

※1：施策の展開方向における関連施策（1：ライフサイクル全体での徹底的な資源循環の推進、2：災害に強く持続可能な廃棄物処理体制の確保、3：廃棄物の適正処理の徹底）

※2：「特に本県の地域循環共生圏の実現に寄与すると期待される施策」に関連する指標